

# ダム事業の評価結果

## 1. 新規事業採択時評価

新規

【直轄・公団事業】

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	便益 ( B )		費用 ( C ) (億円)	B / C	その他の指標による評価	担当課 (担当課長名)
		総便益 (億円)	便益の主な根拠				
天竜川ダム再編事業 中部地方整備局	730	6,426	浸水戸数：123,000戸 浸水農地面積：9,500ha	657	9.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和43年には天竜市等で1,675棟の浸水被害、また、平成10年では浜松市等で487棟の浸水被害が発生しているなど、過去10年間に4回の浸水被害が発生している。</li> <li>・ 当該事業の実施により、天竜市鹿島地点の洪水流量18,300m<sup>3</sup>/sのうち3,700m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行う。</li> <li>・ 既存ストック（佐久間ダム）の有効活用により、環境改変を最小限に抑制することが出来る。</li> <li>・ 排砂施設等の整備により、流入土砂の一部を流下させ、天竜川における土砂移動の連続性の確保を図ることが出来る。</li> </ul>	本省河川局治水課 (課長：望月常好)

事業段階の移行に伴うもの

【補助事業】

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	便益 ( B )		費用 ( C ) (億円)	B / C	その他の指標による評価	担当課 (担当課長名)
		総便益 (億円)	便益の主な根拠				
儀間川総合開発事業 沖縄県	130	194	浸水戸数：555戸 浸水農地面積：110ha	110	1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和58年9月の台風10号では浸水家屋41戸、田畑冠水97haの被害、平成10年10月の集中豪雨では5戸の浸水家屋、畑冠水3.3haの被害、平成13年9月の台風16号では15戸の浸水家屋、田畑冠水119haなど頻繁に浸水被害が発生している。</li> <li>・ 当該事業に実施により、儀間川について山田橋地点で洪水流量の58m<sup>3</sup>/sのうち17m<sup>3</sup>/sの洪水調節する。また、謝名堂川においては中ノ橋地点で43m<sup>3</sup>/sのうち13m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行う。</li> <li>・ 旧仲里村の上水道給水実績は、平成4年度以降は水道供給能力を上回っている状況。毎年夏場の渇水期には、農業ため池から水道用水を取水しているため、基幹産業であるサトウキビ畑の干ばつが頻発（H5～H14の10年間に6回の干ばつ被害）。</li> <li>・ 渇水が頻発し、また今後の水需要が見込まれる久米島町に対し、当該事業の実施により、水道用水0.0035m<sup>3</sup>/s（300m<sup>3</sup>/日）を供給できる。</li> </ul>	本省河川局治水課 (課長：望月常好)